

安全・安心な

まち

安全安心に暮らせるまち

町内には、富士山やスピードウェイなど有数の観光地を抱え、近隣に大型商業施設があることから、生活道路へのレジャーカー車両などの流入が多く見られます。また、足柄SAスマートICOや、今後新東名高速道路（仮称）小山PA・スマートICOの開設も予定されているため、交通量の増加が見込まれています。このような状況において、交通事故や犯罪のない町づくりを進めるため、安全意識の高揚を図っています。

犯罪防止に向けた取り組み

犯罪防止の観点から通学路などを町内約40箇所に防犯カメラを設置し、さらに、街を明るくして夜間の犯罪を防止するため、地元の区による防犯灯の設置や管理に要する費用に対し補助金を交付してい

ます。また、高齢者に対する振込詐欺などの被害を未然に防止するため、特殊詐欺等被害防止機器の購入に対する補助金を交付しています。町民との連携事業としては、小山・北郷・須走の中学校区ごとに組織されている防犯連絡協議会などを中心に、地域ぐるみでの防犯パトロール等を計画・実施しています。



高齢者の交通事故防止

高齢ドライバーによる交通事故防止のため、高齢者が運転免許証を自主返納する際の手数料補助やデマンドバスの回数券を配布する制度を実施しているほか、後付けの自動車用急発進抑制装置の設置に対する補助を行っています。



交通安全教室



街頭指導

交通安全対策

交通事故防止に向けて町が委嘱する交通指導員は、児童生徒の登校時の安全確保のため、街頭指導を行っています。また、小山町交通安全対策協議会では、全国交通安全運動、交通安全県民運動期間に合わせ、街頭広報や街頭指導、まちかど広報などを実施し、交通安全協会と連携し、町内のこども園や小中学校で交通安全教室を開催しています。園児や小学校低学年には横断歩道の渡り方や道路の歩き方、小学校高学年や中学生には自転車の乗り方など、年齢に合わせ、交通事故防止のための教育を行っています。